

商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書

テーマ : オガールプロジェクトと紫波町の公民連携

科目名 : ベーシック演習

担当教員 : 中村亨

実施日 : 2025年11月7日(金) 時限 : 1 時限目 実施教室 : 5502 教室

実施趣旨 (目的)

本年8月に宮城県女川町を国内実態調査旅行で訪問したが、その女川町が復興後のまちづくりの手本にしたのが紫波町のオガールプロジェクトである。日本における公民連携の成功事例として有名なオガールプロジェクトを中心となって牽引した鎌田氏から、プロジェクトの計画から実現に至る経緯をうかがい、公民連携による地域活性化の可能性について考える。

実施結果

町で購入はしたものの予算上の問題から使われなまま放置されていた駅前土地に、紫波町が公民連携という手法を用いていかに商業施設と公共施設を適正な予算で建設し有効に運営しているかを、志波町役場の職員で駅前開発計画オガールプロジェクトの中心メンバーの一人であった鎌田氏からうかがった。サッカー場などとは異なり競合相手が少ないバレーボールに特化したスポーツ施設を建設し全日本代表チームの練習などに使ってもらって成功を収めていること、また市民の創意工夫で自由に使用できる駅前広場という構想やその広場と一体になったテナント型の駅前商業施設の建設と運用など、どのような狙いで町づくりの計画を立案し実現していったのかを当事者から直接お聞きすることができ、受講生たちは興味を惹きつけられていた。また施設の完成後も、町に賑わいを作るための工夫が現在進行形で続いていることがお話を聞いてよく分かった。講演後は活発な質疑応答が行われ、地域の活性化のために常に考え活動続ける鎌田氏の熱い思いが受講生たちには伝わり大いに刺激を受けた様子だった。